

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年3月25日

【2019年3月16日～2019年3月22日までの推移】

【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。先週末にロドリゴ・マイア下院議長が、年金改革法案承認を目指した政府との協力姿勢を後退させたことや、欧州圏の弱い経済指標によってリスク回避の動きが進んだことで、ブラジル・レアル、国債ともに大きく売られました。

先週半ばまでのブラジル金融市場は、ボルソナロ大統領とトランプ米大統領の会談で、貿易やブラジルへの民間投資、軍事面など幅広い分野で両国の関係強化が確認されたことや、軍人年金改革法案が予定通り議会で提出されたことで楽観ムードが強まりました。加えて、FOMC(米国連邦公開市場委員会)にて2019年の利上げ予想回数がゼロに引き下げられたことも追い風となり、ブラジル金融市場は堅調に推移しました。

しかし、週末にマイア議長が、ボルソナロ大統領の次男であるカルロス・ボルソナロ氏の発言に憤慨し、年金改革法案承認のための議員説得をやめると発言したことで、楽観ムードが一変し、ブラジル・レアル、国債ともに大きく売られました。また、欧州圏のPMI(購買担当者指数)が予想を上回る下落となったことで、世界的な景気後退懸念が高まり、リスク回避の動きが進んだことも売りに拍車を掛けました。

経済指標に関しては、1月の経済活動指数などが発表されました。経済活動指数は市場予想を下回る内容となりましたが、材料視されませんでした。また、ブラジル中央銀行からは政策金利の発表がありました。事前の予想通り6.5%で据え置かれました。

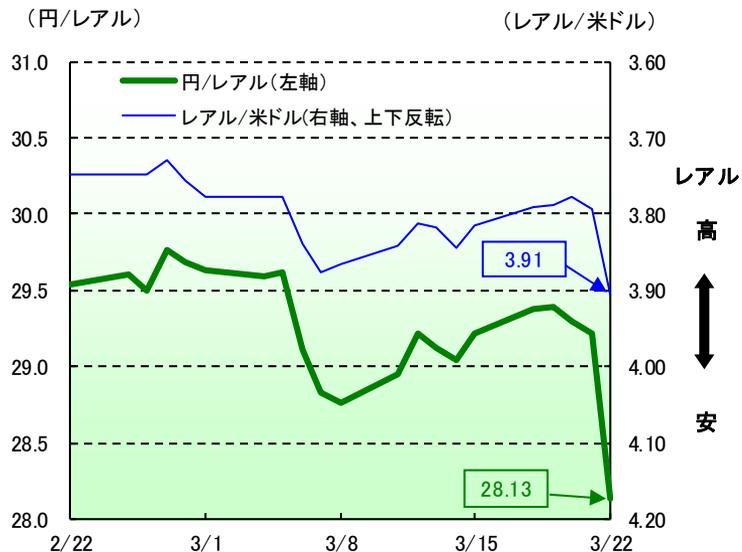
【2】今週の見通し

今週は、各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

年金改革法案に関しては、今週、下院憲法司法委員会での票決が行われる見通しです。今回の票決では法案は承認されるとみられていますが、今後の承認プロセスではマイア議長との関係悪化の影響が懸念されます。現在、ゲデス経済相などがマイア議長の癩癪を抑えようと働きかけており、関係回復の行方に注目したいと考えます。

【ブラジル・レアル 為替推移】

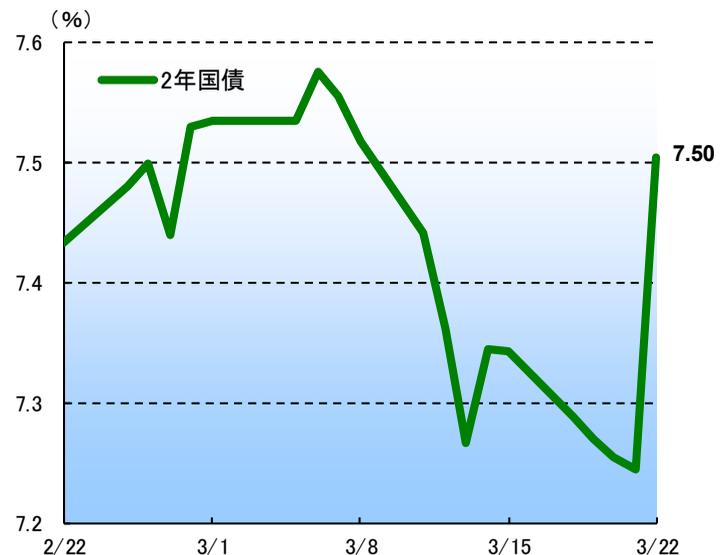
(2019年2月22日～2019年3月22日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2019年2月22日～2019年3月22日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>